

2016年度包括的歳出法、多数の高等教育関連プログラム予算を拡大（12月21日）

連邦議会は12月18日、2016年度包括的歳出法案を可決した。同法案は、強制歳出削減措置が敷かれておらず、その結果、高等教育にとって重要な多くのプログラムにおいて、予算が大幅に拡大することとなった。例えば、低所得層の学生を対象とした奨学金「ペル・グラント（Pell Grant）」の2016年の支給最高額は、前年の5,775ドルから5,915ドルに増額された他、国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）の予算は20億ドル増の320億8,400万ドルとなった。それ以外の高等教育関連の主要な変化は以下の通り。

- ・「トリオ（TRIO）」や「ギア・アップ（GEAR UP）」などといった、支援を必要とする生徒を対象とした大学進学準備プログラム予算が前年度比約7%増。
- ・教育機会補助奨学金（Supplemental Education Opportunity Grant）やワーク・スタディ（work-study）プログラムなどは前年度から変化なし。
- ・高等教育改善基金（Fund for the Improvement of Postsecondary Education : FIPSE）への予算割当はなし。

Inside Higher ED, Boost From a Budget Deal

<https://www.insidehighered.com/news/2015/12/21/budget-deal-provides-additional-funds-education-research-programs>